

慶應義塾大学 理工学部・中央試験所 低温室

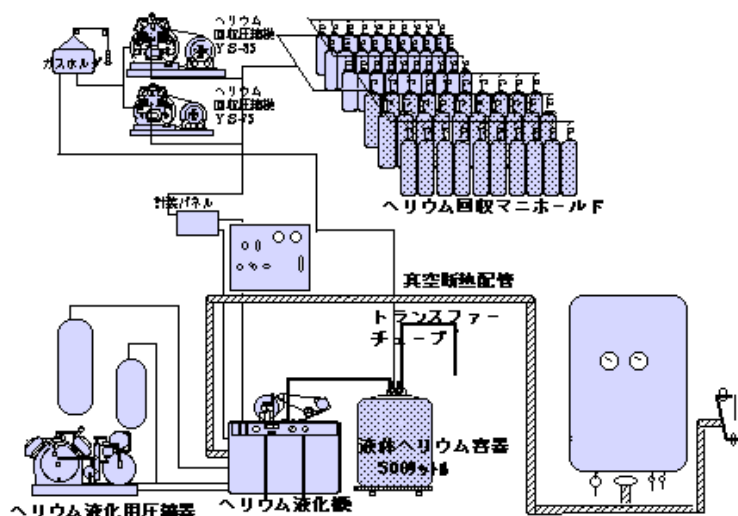


ヘリウム液化装置 KOCH 1430

慶應義塾大学理工学部中央試験所は、分析部門（電子顕微鏡室や X 線室など 10 室）と製造部門（低温室と微細加工室）で構成された学部教養施設である。低温室では 1975 年にフィリップ社製液体空気製造装置、1976 年に同じく液体窒素製造装置が稼動して学内への寒剤供給を行ってきた。1981 年に物理学科と化学科を新設して工学部から理工学部に変更されたのを機会に、CE とヘリウム冷凍液化装置、1987 年にはヘリウム精製装置を設置した。これに伴い液体空気・窒素の製造を廃止して CE 供給に統一した。液体ヘリウムは理工学部 5 学科、液体窒素は理工学部の 9 学科をはじめ他学部や附属高校などでも広く使われている。



液体窒素貯蔵タンク



低温室 略図

ヘリウム液化システム 1982 年導入			液化用圧縮機	KOCH 1470	17.5 kg/cm ²
ヘリウム液化機	KOCH 1430	36L/h	回収圧縮機	東亜潜水	YS-75, YS-85
ヘリウム貯蔵容器	500L		ヘリウム回収ガスバック		20m ³

〒223-8522 神奈川県港北区日吉 3-14-1

慶應義塾大学 理工学部 中央試験所 低温室

TEL : 045-566-1472 FAX : 045-566-1473